

# 2017 年度事業計画書

【期間】 2017 年 4 月 1 日～2018 年 3 月 31 日

## 1. 事業方針

### ◆中期ビジョン (2015年4月～2018年3月)

CoCoTは、地域に住む人々が、自分たちのまちのことを自分たちで決めることができ、誰もがそれぞれに居場所のある地域社会の実現を目指しています。

複雑に変化し高齢社会となった現代で、お金のある人だけが良いサービスを受けることのできる社会は、決して生きやすい幸せな社会ではありません。

地域で生活し関わり合う人々がそれぞれの発意と役割分担により、共に試行錯誤を重ね、課題解決への道筋をつけ、多様な事情を抱える人々と、共に生きる社会を創り上げていこうとする動きが始まっています。これからは、自分たちなりの答えを見つけるためのプロセスを描きプランニングする役割(コミュニティコーディネーター)の存在が重要です。

CoCoTは、これからの職業として、コミュニティコーディネーターの可能性を広げていきたいと考えています。

### ◆中期目標(2015年4月～2018年3月)

1. 2015年より3年間かけて、実践的かつ明確な対価志向性を持った事業型NPOとして、再構築します。
2. コミュニティコーディネーターとNPO経営のプロフェッショナル集団で構成される組織づくりを目指します。

### 1-1 2016 年度基本方針

2017 年度も、「非営利型一般社団法人地域見守りネット」の事務局を引き受けて活動します。「あんしん電話」の取り組みを通して、CoCoT が組織として学び蓄積した経験を踏まえて、課題の当事者と共に歩みながらも、伴奏者として中間支援の役割を果たしていくことを軸にします。当事者と伴走者の違いを認識しながら、共にある活動を目指します。

そして、視野を広げて、新たな法人が持つが豊かなソーシャル・キャピタルを拾い出して、つなげていきます。新法人の強みは何と言っても、多様性と関係性の豊かさです。そしてこのつながりは、単一の価値観で形成されていません。ですから、目的に向かって合意することの困難さはありますが、利害関係を承知して合意した時の強さは素晴らしいものです。CoCoT は、この動きを創り出していくための情報収集と戦略の組み立てに寄与します。

もう一点、今年度取り組むことは、再度の人材育成へのチャレンジです。中間支援である地域の伴奏者(コミュニティ・コーディネーター)は、散乱する情報を現状に必要な情報をフォーカスして収斂していく能力が必須だと考えています。そのうえで、課題の本質と当事者の感受性

をくみ取り、課題解決に向けてプロセスを立体的に構想して、当事者が目的に限りなく近づいていくための仕事をします。

「あんしん電話」の活動を通じて、やはり、人材の発掘と養成は、持続可能な活動を続けていくためには、必須であることを深く認識しました。今年度は、市民活動一般の人材育成ではなく、生活実感の伴う地域性に焦点を当てて、活動の受け皿まで用意して、人材の発掘と養成に取り組んでいきます。

CoCoT は、一朝一夕にできない多様な関係性を組織の強みにして、多元的な財源の確保と経済活動を伴ったダイナミックな潮流を高齢社会の中で創っていきます。

昨年も言ってきたことですが、支払い能力のない人々をお金が回る仕組みから除外するのではなく、彼らの存在により地域経済が回る仕組みを作ろうという発想で、中間支援の仕事を社会的にインパクトのある経済活動に育て上げていきます。

今年度は、松戸駅前に新法人との共同事務所を持ちます。共同事務所の設置は、支出面で大きな負担となります。CoCoT は、2013 年から、経営規模としては縮小方向に進んでいました。2017 年は、これまでの内向きの縮小経営から脱して、積極的な経営に転換します。そのためには、支出部門の管理だけでなく、財務部門である資金調達を強化します。私たちは、未来を創る NPO 法人の経営に挑戦し続けます。

以上の状況を踏まえ、今年度は中期ビジョン実現のための具体的な方針を立てました。

1. 一般社団法人あんしん地域見守りネットを具体的な方策でサポートします。
2. 地域活性化センター松戸の機能を整理して、活用します。
3. 各事業の意義と位置づけを整理して、活性化させます。
4. 組織内コミュニケーションと働き方の効率性を高めます。
5. 資金調達のためのツールを整備します。

## 1-2 事業系

### (1)コミュニティ・コーディネーター部門(地域活性化センター松戸)

- ①【地域連携】一般社団法人地域見守りネット事務局
- ②【人材育成】コミュニティ・コーディネーター育成
- ③【人材育成】まちの学び舎「まちばカレッジ」運営
- ④【地域連携】松戸東口周辺活性化「ヒカッテルネ！松戸マルシェ」事務局
- ⑤【NPO支援】まるごとスマイルファンド(休止)
- ⑥【地域連携】地域活性化センター松戸の運営

### (2)コミュニティ・シンクタンク部門

#### ①調査研究事業

【地域連携】高齢化社会に対応した地域の見守り体制づくりの研究

委託者：公益財団法人ニッセイ聖隷健康福祉財団

②NPO支援センターコンサルティング

【NPO支援】流山市民活動推進センター運営サポート

③講師派遣

【人材育成】コミュニティコーディネーター育成講座 創業支援講座

## 1-3 管理系

### (1) 広報

ビジネスツールを整備し、対価表示のできる体制を作ります。

対価表示されたパンフレットの作成をします。

### (2) 組織運営

以下の会議を、開催する。

- ・総会（年1回）
- ・理事会（年6回）
- ・経営会議（12回 一般社団法人あんしん地域見守りネットと共同会議）
- ・センターミーティング（月1回 スタッフ全員参加）
- ・担当者ミーティング（随時 企画担当者間で必要に応じて開く）
- ・朝礼（毎日 出勤スタッフのミーティング）

### (3) 経営

個々の企画の採算より、法人全体のキャッシュフローを重視した経営を目指す。資金の調達と運用・支出を一貫した論理で把握できるようにする。資金調達のツールを整備する。

- ① 財務
- ② 経理
- ③ 人事

## 2017年度 活動計算予算書

2017年4月1日から2018年3月31日まで

特定非営利活動法人コミュニティ・コーディネーターズ・タンク  
代表理事 小山 淳子

科目	金額(単位:円)	
I 経常収益		
1. 受取会費		298,000
正会員受取入会金	50,000	
正会員受取会費	120,000	
準会員受取入会金	10,000	
準会員受取会費	18,000	
賛助会員受取会費	100,000	
2. 受取寄附金		800,000
受取寄附金	800,000	
3. 受取助成金等		600,000
受取民間助成金	600,000	
4. 事業収益		7,770,000
人材育成事業収益	300,000	
地域連携事業収益	7,370,000	
NPO支援事業収益	100,000	
5. その他収益		-
受取利息	-	
雑収益	-	
経常収益計		9,468,000
II 経常費用		
1. 事業費		7,959,000
人材育成事業費	600,000	
人件費	240,000	
その他経費	360,000	
地域連携事業費	7,339,000	
人件費	5,233,000	
その他経費	2,106,000	
NPO支援事業収益	20,000	
人件費	-	
その他経費	20,000	
事業部門共通事業費	-	
人件費	-	
その他経費	-	
人件費計		5,473,000
その他経費計		2,486,000
2. 管理費		1,421,000
(1) 人件費	-	
役員報酬	-	
給料手当	-	
法定福利費	-	
福利厚生費	-	
(2) その他経費	1,421,000	
旅費交通費	5,000	
通信費	40,000	
租税公課	3,000	
消耗品費・印刷製本費	10,000	
地代家賃・管理費・水道光熱費	1,216,000	
会議費・賃借料	-	
保険料・諸会費・支払手数料	147,000	
経常費用計		9,380,000
当期経常増減額		88,000

Ⅲ 経常外収益			
1. 固定資産売却益	-	-	
保経常外収益計			-
Ⅳ 経常外費用			
1. 雑損失	-	-	
経常外費用計			-
税引前当期正味財産増減額			88,000
法人税、住民税及び事業税			70,000
当期正味財産増減額			18,000
前期繰越正味財産額			269,558
次期繰越正味財産額			287,558